

## 1 月度理事会議事録（2022 年 1 月 11 日（火）開催）

（新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため、1 月度理事会はビデオ会議システムにて開催した）

### 1. 会長報告（12 月 14 日（火）～1 月 10 日（月）出席案件）

- ・12 月 14 日（火）日本人会・理事会（日本人会本館）
- ・12 月 14 日（火）日本人会・理事懇親会（北海道寿し居酒屋えぞや）
- ・12 月 17 日（金）泰日協会 Board Meeting（InterContinental Bangkok Hotel）
- ・1 月 7 日（金）日本人会・企画推進部会及び三役会（ビデオ会議システム）

### 2. 新理事承認

- ・米増隆一氏（Toyota Daihatsu Engineering & Manufacturing Co., Ltd.）  
→異議なく承認された

### 3. 一般報告

#### （1）12 月度個人会員動向

入会者 93 名 退会 190 名 現会員数 4,886 名（内、準会員 55 名 会友会員 210 名）  
（前年同月 5,804 名・前年同月比 84%）

#### （2）12 月度賛助会員

〈退会 2 社〉

- ・MOL Management(Thailand) Co., Ltd.
- ・OMG Real Estate Co., Ltd.

現会員数 524 社（前年同月 575 社・前年同月比 91.1%）

#### （3）会員優待店

- ・現在の有効店数 42 店舗  
※休業されているレストランも多いことから事務局にて精査しているところである。

#### （4）12 月度会館来訪者数

本館：163 名（実数 72 名）

別館：1,533 名（実数 562 名）

合計：1,696 名（実数 634 名）

（前年同月 2,949 名（実数 1,073 名）前年同月比 57.5%（59.1%））

#### （5）会館貸出サービス

- ・1 月、2 月全ての土日に別館でヒューマンアカデミーのロボット教室を行う予定である。

#### （6）寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈  
タイを知る会、源田治朗様、中村慈恵様、その他 3 名より、計 179 冊寄贈頂いた。

#### （7）12 月度会計報告

- ・12 月度収入は、262 万バーツ、（前年同月 260 万バーツ 前年同月比 100.9%）
- ・12 月度支出は、187 万バーツ、（前年同月 222 万バーツ 前年同月比 84.3%）
- ・単月収支は、75 万バーツ（前年同月 37 万バーツ 差額 38 万バーツ）
- ・累計収支は、-112 万バーツ（前年同月 185 万バーツ 差額 -297 万バーツ）

(8) その他報告 (事務局)

- ・1月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. タイ国日本人会共催/後援名義・ロゴ使用申請 (事務局)

対象事業名：無料【オンラインツアー】現役日本航空タイ人客室乗務員がご案内！

バンコク フォトジェニックオンラインツアー

- ・開催日：2022年1月21日(金) 20:00より ZOOM 配信
- ・主催：JTB(Thailand)Limited
- ・要請事項：広報協力  
→異議なく承認された

対象事業名：日本映画祭 2022

- ・開催日：2022年2月4日(金)～28日(月)
- ・主催：国際交流基金バンコク日本文化センター 於：バンコク、チェンマイ
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された

対象事業名：日泰シンポジウム「高齢化社会におけるアートの役割」(仮)

- ・開催日：2022年3月16日(水) 13:00～15:30 ZOOM 経由での YouTube 配信
- ・主催：国際交流基金バンコク日本文化センター
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された

5. 2022年ラムウォン盆踊り大会・バーチャルランについて (事務局)

- ・ラムウォン盆踊り大会の開催条件として、①リアルでの開催、②コロナ感染拡大の影響が払拭されていること、③共催運営先があること、④収支均衡で実施できることを検討してきたが、特に②に関しては、コロナ市販薬の流通やブースターの接種完了など、コロナが風邪同様の扱いとなるにはまだ時間を要することが想定されるため、2022年度の開催は見送りとする事とした。今後の開催に関しては、引き続き H. I. S. Thailand とも協議を継続していく。
- ・日タイ修好 135 周年行事として、バーチャルランを開催する方向で JTB Thailand と調整していく。
- ・ラムウォン盆踊り大会に代わるイベントとしては、日本博や JAPAN EXPO など一アトラクションとして参加することも検討する。

6. 2021年度第3回英語検定について (事務局)

- ・1月22日(土)23日(日)実施予定の2021年度第3回英語検定に関して、1月7日(金)現在の CCSA 発表では、中止の検討を要する規制は設けられず、バーンラック区に英検実施要項を提出した上で実施予定である。その際、試験前日の ATK 検査の義務付け、ソーシャルディスタンスの確保、英検協会が定める『新型コロナチェックシート』の提出などの感染対策を徹底する。また、今後の状況次第では中止の可能性もあることも、事前に受験者に伝えることとする。

7. 各部・各委員会報告及び提案等 (発表順)

(1) 事業部 (日高理事/日高洋行) ※事務局代理

- ・内堀堂守の12月の活動を報告。  
ワットリアップの活動に6回参加、納骨堂堂守としての供養・法要を7回実施頂いた。12月21日(火)本館にて写仏会を開催した。12月23日(木)本館にて食事供養を開催した。

・例年2月に開催しているカンチャナブリ慰霊塔法要は、一般参加を中止とし、2月12日（土）に堂守と事務局にて実施することとなった。在タイ日本国大使館とJCCよりご供花いただくこととなった。

（2）青少年部（日高理事/日高洋行）※事務局代理

・12月は演劇・剣道・柔道・バレーボール・バスケットボール・ブラスバンドが通常活動を行った。  
・1月29日（土）、別館にて、茶道サークル体験イベントを開催予定である。

（3）厚生部（桐生理事）

・2月23日（水）、本館にて、成人の日祝賀会を開催予定である。2001年4月2日～2002年4月1日生まれの方と対象とし、食事提供はせずに記念品贈呈式のみ行うこととする。

・1月4日（火）より、別館キッズルームを再開した。すくすく会の会員数が大幅に減っていることから、1～3月はすくすく会入会金無料キャンペーンを行い、会員誘致に努めることとする。

（4）運動部（岩本理事）

・12月20日（月）ビデオ会議システムにて、運動部同好会の予算説明会を開催した。

（5）婦人部（竹井理事）

・1月25日（火）、別館にて「春めくミニリースのワークショップ」を開催予定である。新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン開催へと変更する予定である。

（6）会報部（富永理事）

・クルンテープ2022年1-3月号の誌面を紹介した。

（7）広報部（富永理事）

・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。ダコ、ニコラボはウェブ広告のみとなっている。

・12月のホームページアクセス状況は、訪問数7,522、閲覧数17,904、前年同月比は、訪問数90.9%、閲覧数81.7%と、目立ったイベントがなかったため減少傾向となった。前月比は、訪問数65.4%、閲覧数62.5%であった。タイからの訪問数は67.2%、日本からは27%。前月と比較し、タイからは31.6%、日本からは19.1%減少している。

・LINEは7回の配信、登録者は前月より50名増加し、5,976名（有効者数3,969名）

・Facebookは47回の投稿、登録者は前月より13名増加し2,919名。ワットリアップ僧侶への食事供養に関する投稿がリーチ数最多となった。有料広告については、JICAオンライン出前講座第6弾のお知らせを12月17～20日の4日間掲載し、リーチ数が15,660となった。

・Instagramは15回の投稿、登録者は前月より4名減少し、1,245名。Instagram配信を開始以来、初めてフォロワー数の減少となった。帰国・退会に伴うアンフォローと推測される。

・Twitterは10回投稿し、フォロワーは前月より23名増加し、920名となっている。フォロワー数の上昇は緩やかなものの、フジスーパー閉店情報など身近な情報への反応は多く見られた。

（8）企画推進部（富永理事）

・12月21日（火）、JICAとの共催第6弾として『世界を繋ぐ！年末特別企画！3か国から生中継で比べるODAプロジェクト』をオンラインで開催した。講師は、JICAタイ事務所の水上貴裕氏、JICAモンゴル事務所の小泉泰雅氏、JICAインド事務所の大口莉織氏で、各国のご担当者よりODAの取り組みの違いなどについてお話いただいた。申込み45名に対して、当日参加は34名、事後アンケートでは9割以上の方が満足したと回答した。

- ・1月12日(水)、初めて英検を受験するお子様を対象に、『はじめての英検』を開催する。講師は、コミュニティ英会話の枝雄二氏で、マークシートの書き方指導や4級・5級の直前対策を行う。別館にて開催予定であったが、感染拡大の影響を鑑み、オンラインにて開催することとした。
- ・2月3、10、17、24日(木)、別館にて、全4回のタイ語基礎講座を開催する。講座委託先は Westell Language School。
- ・2月24日(木)、オンラインにて『職場でも家庭でも使える、目標実現のための戦略的思考』を開催する。講師は、HRI(Thailand)社の江草嘉和氏。
- ・1月4日の時点で、YouTubeの登録者数が563名となったことを報告した。10~12月で最も多く視聴されているのは、9月に開催した婦人部イベント『タイの調味料について』の動画で、再生回数は448回となっている。

#### (9) 食堂運営委員会(石井理事)

- ・食堂売上12月は、327,940B(前年対比37.5%)であった。タイ人顧客は954名、邦人顧客は218名、総顧客数1,172名、会員利用者延べ人数は44名、実数27名であった。
- (12月2日(木)午後~17日(金)の期間は、水回り設備の修理のため休業)

#### (10) 文化部(事務局)

- ・2021年12月11日(土)12日(日)、クルンテープかるた会が第一回オンライン競技かるた大会を開催した。参加者は、タイ人98名、日本人2名であった。
- ・1月の開催予定イベントとして、以下の2件を紹介した。
  - 1月7日(金)タイを知る会 オンライン講話『仏教講話~1人の仏陀、1つの仏教~』  
講師：日本人納骨堂内堀堂守
  - 1月30日(日)クルンテープ写真倶楽部 ワット・アソカラームとカモメと夕日の撮影会

#### (11) 運動部(ゴルフ)(事務局)

- ・第29回タイ王国元日本留学生協会(OJSAT)との親善ゴルフ大会を延期することを報告した。

#### (12) 事務局報告

- ・本館別館ともにSHA(アメージングタイランド健康安全基準)への登録が完了したことを報告した。
- ・12月23日(木)、大使館の松前領事部長宛に「海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業」の清算書を提出し、1,573,477.02 バーツを外務省宛に請求したことを報告した。
- ・2022年度の理事・監事選挙スケジュールを確認した。
- ・2022年2月の企画推進会議・三役会、理事会の日時を確認した。

#### 7. 12月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

#### 8. 理事会出席者(敬称略、順不同)

- ・島田会長、荻原、日時本、田中、福田、加藤(三井物産)、各副会長、太田、小田原、米増、桐生、岩本、土田、竹井、日高(日高洋行)、富永、重松、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、谷口日本人学校校長、森田 JICA(国際協力機構) 所長、栗山国際交流基金所長、石川 JETRO(日本貿易振興機構) 代表、高橋報道代表、事務局(村上・安達・松田)